

製品名: GRM3 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81897

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	99kDa

抗原情報

遺伝子名	GRM3
別名	GLUR3; mGlu3; GPRC1C; MGLUR3
遺伝子 ID	2913.0
SwissProt ID	Q14832
免疫原	大腸菌で発現したヒト GRM3 (AA: 追加 433-576) の精製された組み換え断片。

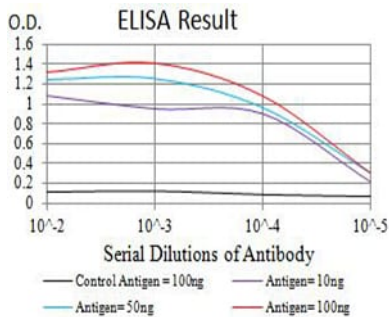
背景

L-グルタミン酸は中枢神経系の主要な興奮性神経伝達物質であり、イオンチャンネル型および代謝型グルタミン酸受容体の両方を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は正常な脳機能のほとんどの側面に関与しており、多くの神経病理学的状態では障害を受け

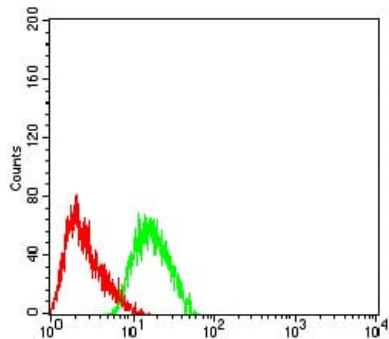
る可能性があります。代謝型グルタミン酸受容体は G タンパク質共役受容体のファミリーであり、配列相同性、推定シグナル伝達機構、および薬理学的特性に基づいて3つのグループに分類されています。グループ I には GRM1 と GRM5 が含まれ、これらの受容体はホスホリパーゼ C を活性化することが示されています。グループ II には GRM2 と GRM3 が含まれ、グループ III には GRM4、GRM6、GRM7、および GRM8 が含まれます。グループ II および III の受容体は、サイクリック AMP カスケードの阻害に関連していますが、アゴニストの選択性が異なります。

研究分野

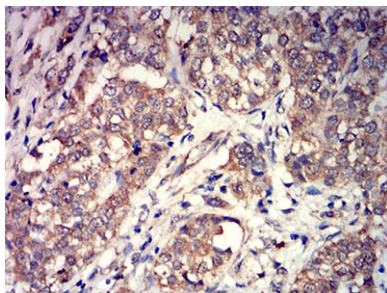
画像データ



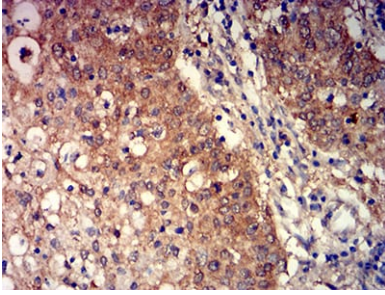
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



GRM3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SH-SY5Y 細胞のフローサイトメトリー分析。



GRM3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



GRM3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。